



openGion 機能紹介

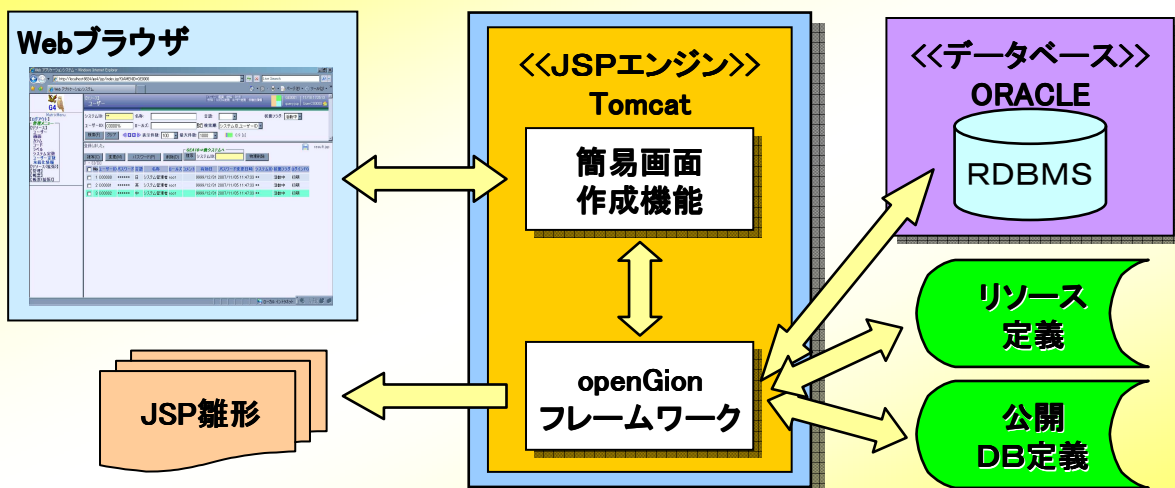
簡易画面作成機能 Ver1.0

特別な知識不要で、画面が作れる

openGionは、元々、JSPによる画面開発は簡易なのですが、更に、データベースの詳細な知識が無くても画面が作成できる機能を提供します。お客様自ら、簡易的に画面開発を行ったり、本格的な画面開発の前処理として利用したり、既存のパッケージシステムに付加的に検索画面を追加したり、色々な用途にご利用いただけます。

- 画面開発にJavaの知識は不要
- 公開DB定義から作成するので、セキュリティ対応も容易
- JSP雛形出力機能により、本格的な画面開発に利用可能

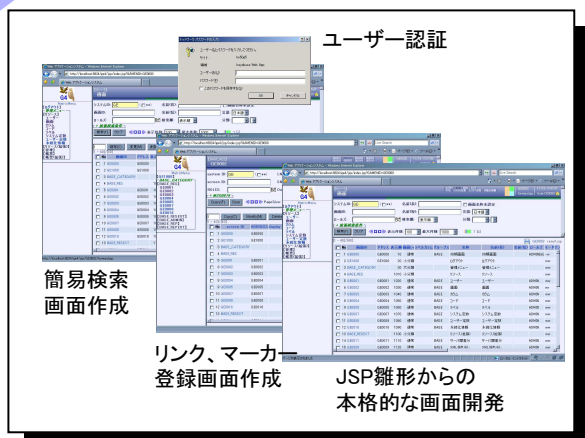
簡易画面作成から本格的なJSPの作り込み開発まで、幅広くサポート



- 段階的な開発が可能なので、簡易画面から、本格的な画面まで広く対応
 - 公開DB定義より、必要なカラムを選択して、画面を自動作成、すぐに利用できる
 - リンクやマーカーなどの付加機能を追加できる
 - 結果をJSP雛形として出力することで、以降の本格的な開発ができる
- 公開DB定義を利用するので、見せたくない項目を管理者が制御できる
 - データベースのスキーマそのものではないので、利用者に安心して開放できる
 - 公開DB定義情報も、データベーススキーマや、既存のDB定義書から簡単に作成できる
 - ユーザー毎のメニュー制御や、見せたくない行は、データロールや画面ロールで制御できる
- 既存のシステムの簡易検索画面の開発も容易
 - SELECT文を発行するだけなので、既存のパッケージソフトのデータベースの検索も可能
 - openGionを採用したシステムなら、メニューに組み込みも可能
 - データベース設計を行えるなら、自社システムをスクラッチで開発可能
- openGionの標準機能は、そのまま利用可能
 - リソース定義をそのまま利用できるので、ラベルや入力チェックも継承できる
 - JSP雛形から、グラフ表示、クロス集計、タブ形式などの画面への対応も簡単
 - メール送信、EXCEL出力、帳票出力なども、簡単に組み込める

簡易画面作成機能 Ver1.0

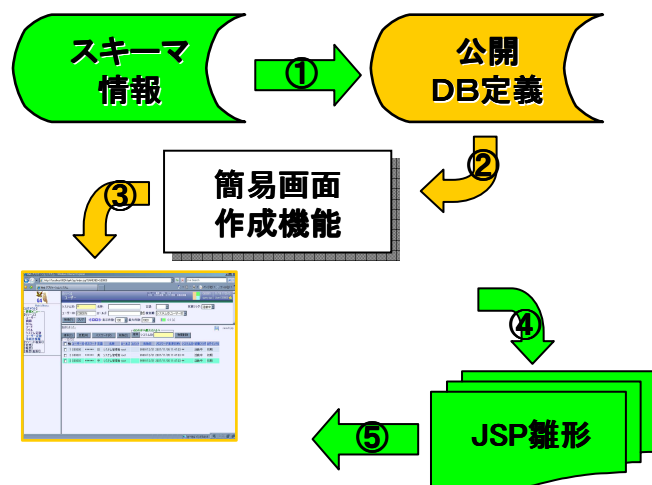
段階的な開発



単に検索画面を作成する所から、リンクやマーカー付きの画面開発や、登録系画面の開発まで、機能を積上げる形でエンドユーザー自ら開発できます。この段階では、メモリ上でコードを展開するだけで、実際のインストール作業等は発生しません。また、開発した画面を、実際のJSP雛形として出力すれば、通常の開発画面とおなじ画面開発が可能になりますので、さらなる機能追加やカスタマイズが可能になります。

公開DB定義

画面の作成には、公開DB定義の情報を利用します。テーブルスキーマからだと、不要なカラム(制御フラグや管理項目など)や、見せたくないカラム、書き換えられたくないカラムなど設定が困難です。ここでは、予め定義された公開DB定義に基づいて画面のカラムを選択するため、スキーマ制限的な処理が可能です。また、公開DB定義情報を、スキーマから取り込んだり、仕様書DB定義情報から取り込むことも可能です。



リソース適用

openGionの標準機能(ラベルや入力チェック)が、そのまま利用できます。これにより、稼働中の現システムに追加画面を作成しても、同じリソース情報が利用できるため整合性を保つことが可能になります。

品番	<input type="text"/>	工場C	検索
品番	工場C	品名	
D40A	O:大分	パネル	
D40B	O:大分	プリンタ	
D40C	A:海外	電源	
Z06X	K:加賀	フレーム	
Z06Y	S:犬山	ブラケット	

ColumnTag の name属性に『CDK』を指定するだけで、プルダウンメニューが作成される。

QueryTag のSELECT文に、『CDK』を指定するだけで、コードに対応したラベルが自動的に表示される。

動作環境

◆ サーバー

- CPU : Xeon 2.0GHz以上(推奨)
- メモリー : 2048MB以上(推奨)
- HDD : 120GB以上(推奨)
- OS : Windows 2003/2008 Server
- DB : ORACLE 10g/11g
- その他 : J2SE 1.6 / tomcat 6.0

◆ クライアント

- CPU : PentiumM 1GHz以上(推奨)
- メモリー : 512MB以上(推奨)
- OS : WindowsXP以上
- Webブラウザ : IE7.0以上
- その他 : 画面解像度 1024×768以上

※ Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。
※ その他の記載の商品名は一般に各社の商標、または登録商標です。
※ 記載の内容は将来予告なく変更されることがあります。